

設立趣旨及び教育目標

【名 称】

日本名 ワシントン補習授業校

現地名 ワシントン日本語学校

・1958（昭和33）年9月 開校

・1984（昭和59）年11月 ワシントンD.C.より学校法人の認可を受ける

【補習授業校の設置目的】

補習授業校は、

○現地校に通学する児童生徒が、【対象】

○再び日本国内の学校に編入した際にスムーズに適応できるよう、【目的】

○基幹教科の基礎的・基本的知識・技能および日本の学校文化を、【内容】

○日本語によって学習する【方法】

教育施設である。

〈文部科学省「補習授業校の性格」から抜粋〉

【ワシントン日本語学校設立の趣旨】

ワシントン日本語学校は、主に児童・生徒の日本語力の保持・発展のための教育を行い、あわせて日本の生活習慣の涵養と文化の習得に資することを目的とする。

【教育目標】

国際感覚を身につけた、人間性豊かな児童・生徒を育成する。

【学校経営方針】

教職員の組織的かつ主体的努力、相互信頼と協力を基礎に教育目標の実現を図る。

- ・ 「わかった」「できた」という子どもの喜びを自分の喜びにできる教師を目指し、研究と修養に努める。
(教師の教育への姿勢)
- ・ 限られた年間指導時数のなかで最大限の指導効果を発揮するために、周到な計画と準備を通して充実した授業展開に努める。 (授業準備と工夫)
- ・ 子ども一人一人を大切にされた授業展開に努める。 (個に応じた指導の工夫)
- ・ 保護者との信頼関係に基づいた職務遂行と教育実践に努める。 (保護者との連携)

【本年度の努力点】

- (1) 一人一人の個性に寄り添い、やさしさや思いやりの心を育みます。
 - 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係に立った好ましい人間関係の構築
 - 規律ある生活態度の育成と基本的な生活習慣の徹底
 - 子どもの「よさ」を引き出す生徒指導および心に響く教育相談体制の充実
 - 安全・安心な学校環境づくり（安全対策マニュアルの充実）
- (2) 授業改善を行い、家庭と共働して確かな学力を身につけさせます。
 - 国語力向上ベーシックプランに基づいた「共働学習」を目指す保護者とともに実現する主体的・対話的な学び
 - 授業における、めあての提示、学び合いの活動、振り返りの徹底
 - 学習規律の徹底（幼保小中高の縦のつながりを大切にされた取組）
- (3) 米国と日本の二つの言語や文化を大切にしながら、高度グローバル人材育成の拠点となる学校づくりをします。
 - 創立65年の歴史や人脈、環境を生かした教育の充実
 - 体験活動を中心としたキャリア教育の推進
 - 在日本国大使館、商工会、支援企業等と連携し、日系コミュニティ活性化の核となる取組の充実